



～ホームページ活用の巻～

ご存じですか？ クレアの多文化共生情報 ～ホームページのご紹介～

(一財)自治体国際化協会多文化共生部多文化共生課

クレアホームページにある多文化共生部ページはご存じでしょうか？ このページでは、多文化共生に関するさまざまな情報を掲載しています。皆様がより便利に必要な情報を手に入れることができるように、ホームページの活用方法についてご紹介します。

クレア多文化共生部が作成するホームページの概要

サイト名	内容
①多文化共生 (クレアホームページ上部 「多文化共生」タブをクリック)	「多文化共生のまちづくり促進事業」や「多文化共生施策担い手連携推進事業」をはじめ、多文化共生に関する事業を幅広く紹介しています。ここから下記の②～④のページに移動できます。 http://www.clair.or.jp/j/multiculture/index.html
②多言語生活情報 (①の左下部の「多言語生活情報」の アイコンをクリック)	「在留資格」から「ゴミの捨て方」まで、日本で生活するうえで必要な17分野の生活情報を、13言語で紹介しています。 http://www.clair.or.jp/tagengo/index.html
③多文化共生 ポータルサイト (①の左下部の「多文化共生ポータル サイト」のアイコンをクリック)	自治体の多文化共生推進に役立つ施策集として、国の制度や各地域の取り組みなどを紹介しています。 「育てる」「働く」など、人生のライフサイクルに合わせて情報を検索できる構成になっています。 http://www.clair.or.jp/tabunka/portal/
④外国人住民 災害支援情報 (①の左下部の「外国人住民災害支援 情報」のアイコンをクリック)	東日本大震災の際、実際に提供された外国人支援情報や、外国人被災者支援に利用できる文例集などのツールを紹介しています。 http://www.clair.or.jp/tabunka/shinsai/

それでは、それぞれのホームページについて詳しくご紹介していきます。

～まずはこちらに～

①多文化共生

このページには、自治体や地域国際化協会の皆様に役立つさまざまな多文化共生に関連する情報を掲載しています。

たとえば、「この事業がしたいけど、予算がない」というときはありませんか？ そんなときは「多文化共生のまちづくり促進事業」をご覧ください。多文化共生にかかる助成事業の募集要綱や、これまでの助成実績、助成金を活用して作成された資



①クレアホームページ多文化共生部ページ

料（多言語ハンドブック・調査報告など）を掲載しています。

また、「研修の講師が見つからない、アテがない」というときは「地域国際化推進アドバイザー」をご覧ください。クレアが旅費などを負担し、知識や経験を有する実務者・有識者を各地に派遣して

います。

このほかにも、多文化共生の推進を担う人材を育成するための研修情報など、さまざまなメニューをご覧くださいことができます。

～「在留資格」から「ゴミの捨て方」まで～

②多言語生活情報

来日した外国人が日本で生活するにあたり、まず必要となる情報を入手することができるページです。日本の在留資格や税金などの公的制度をはじめ、仕事の探し方、ゴミの捨て方など17分野の生活情報を13言語で掲載しています。このページは日本のどの地域にも共通する一般的な情報を掲載していますが、各地域によって異なる部分もあると思いますので、このページの情報を元に各自治体でカスタマイズすると便利ではないでしょうか。

このページはクリアが提供するホームページの中でも最もアクセス数が多く、2013年度は250万件のアクセスがありました。

また、近年スマートフォンの利用者が増えているため、2014年3月から多言語生活情報の「スマートフォンアプリ版」を無料提供しています。こちらも合わせてご活用ください。

～担当者必見!!～

③多文化共生ポータルサイト

外国人住民も日本人住民と同じように、出生から老後までさまざまなライフサイクルを持っています。その時々々のステージにおいて、外国人住民をとりまく環境がどのようになっているのか、またはどのような課題があるのか、そして現在どのような制度があるのか、といった情報を「生まれる」「学ぶ」「働く」など7つのステージごとに詳細に紹介しています。

自治体や地域国際化協会、NPOの職員が基礎的・包括的な知識を学習するときや、先進自治体の事例を調べるときにも非常に役立つページとなっています。



③多文化共生ポータルサイト

～便利なツールもあります～

④外国人住民災害支援情報

阪神淡路大震災・東日本大震災などの大災害を契機に、災害時の外国人支援について、より一層多くの地域で取り組みが行われるようになりました。このページでは、東日本大震災当時に使用された支援情報を提供するとともに、災害支援に関する各地域の先進的な取り組みを紹介しています。

また、「多言語情報提供支援ツール」のメニューからは、避難所などに掲示するシートを作成できる「多言語表示シート作成ツール」や、災害時多言語支援センターの設置・運営のマニュアルなどを掲載している「災害時の多言語支援の手引き(CLAIR)」など、どの地域でも汎用的に利用できるツールをダウンロードすることができます。

東日本大震災の際、仙台国際交流協会では、実際にこのマニュアルを用いた訓練を直前に実施しており、当日の多言語支援センターの設置につながりました。また、平時に前もって「多言語表示シート」を作成し、避難所予定施設に備えている自治体もあります。

また、多文化共生部ではFacebookアカウントを開設し、災害時の緊急情報発信のほか、平時には多文化共生関連の事業の紹介などを行っております。

いかがだったでしょうか？ クリアホームページではこれからも皆様の事業に役立つ情報を発信していきます。まずは一度、私たちのホームページを覗いてみてください。きっと新たな発見があるはずです。